



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社

コード番号 5268 URL <http://www.asahi-concrete.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中西久芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 松原 哲

TEL 03-3542-1201

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,858	△8.5	△54	—	△33	—	△54	—
23年3月期第3四半期	8,588	△2.0	△57	—	△43	—	△112	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△4.11	—
23年3月期第3四半期	△8.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,458	7,366	59.1
23年3月期	13,270	7,559	57.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,366百万円 23年3月期 7,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	7.50	7.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,800	△3.9	60	153.8	70	106.1	50	—	3.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	13,233,000 株	23年3月期	13,233,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	85,019 株	23年3月期	85,009 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	13,147,985 株	23年3月期3Q	13,148,152 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧とともに経済活動は持ち直しの動きが見られるものの、欧州諸国の財政問題や長期化する円高等により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連するコンクリート製品業界におきましては、公共事業の継続的な縮小及び民間設備投資の減少などの影響が大きく、依然として厳しい業況となりました。

このような状況の中で当社は、中期経営3カ年計画Challenge「New Rebirth」の2年目を迎え、目標達成に向け、主力製品でありますボックスカルバートの施工性経済性を追求した耐震性接着継手工法「TB(タッチボンド)工法」や、環境を重視した施工方法であります「ECO-C・L(エコ・クリーンリフト)工法」の積極的な普及・拡販を軸に販売力強化に努めますとともに、受注内容の改善に努力してまいりました。しかしながら、当第3四半期累計期間の売上高は78億5千8百万円となり、前年同四半期に比べ8.5%の減収となりました。

損益面におきましては、販売価格改善への努力、「無駄取り運動」等により製造原価低減と販売費及び一般管理費節減への取組みを継続した結果、営業損失は5千4百万円(前年同四半期は5千7百万円の損失)、経常損失は3千3百万円(前年同四半期は4千3百万円の損失)となりました。また、四半期純損失は5千4百万円(前年同四半期は1億1千2百万円の損失)となり、前年同四半期に比べ5千8百万円減少いたしました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(コンクリート関連事業)

コンクリート関連事業は、公共事業の継続的な縮小等により、受注高は83億4千万円、売上高は78億1千8百万円(前年同四半期は85億5千1百万円)、セグメント損失は4千6百万円(前年同四半期は4千2百万円の損失)となりました。

①セメント二次製品部門は、受注高は30億6千5百万円、売上高は27億8千6百万円(前年同四半期は28億1千5百万円)となりました。

②工事部門は、受注高が2億2千3百万円、売上高は2億4千1百万円(前年同四半期は3億3百万円)となりました。

③その他部門は、工事事業資材及びコンクリート製品に装着する資材等で、選別受注に努めた結果、受注高は50億5千1百万円、売上高は47億9千万円(前年同四半期は54億3千2百万円)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は当社が保有するマンション等の賃貸収入で、売上高は3千9百万円(前年同四半期は3千7百万円)、セグメント利益は2千1百万円(前年同四半期は1千9百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は124億5千8百万円(前事業年度末に比べ8億1千2百万円減少)となりました。流動資産は前事業年度末に比べ9億6千6百万円減少し、90億2千1百万円となり、固定資産は1億5千4百万円増加して34億3千6百万円となりました。流動資産の主な減少は、現金及び預金の減少3億1千7百万円、受取手形及び売掛金の減少7億円となっております。

当第3四半期会計期間末における負債は50億9千1百万円(前事業年度末に比べ6億1千9百万円減少)となりました。流動負債は前事業年度末に比べ4億9千6百万円減少し、46億9千7百万円となり、固定負債は前事業年度末に比べ1億2千2百万円減少し、3億9千4百万円となりました。流動負債の主な減少は支払手形及び買掛金の減少4億8千9百万円であり、固定負債の主な減少は、長期未払金の減少1億4千9百万円であります。

当第3四半期会計期間末における純資産は73億6千6百万円(前事業年度末に比べ1億9千3百万円減少)となりました。主な減少は四半期純損失5千4百万円及び配当金の支払9千8百万円による利益剰余金の減少1億5千2百万円及びその他の有価証券評価差額の減少4千万円であります。その結果、自己資本比率は59.1%となり、前事業年度末に比べ2.1%改善致しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現下の厳しい経営環境を踏まえ、前回発表予想(平成23年11月11日)から、修正しております。修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,513,843	3,196,218
受取手形及び売掛金	5,015,349	4,315,214
製品	1,162,093	1,200,401
原材料及び貯蔵品	157,526	139,239
その他	150,034	179,415
貸倒引当金	△10,143	△8,761
流動資産合計	9,988,703	9,021,729
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	264,238	251,136
機械及び装置(純額)	140,153	142,432
土地	1,714,065	1,720,310
その他(純額)	286,090	377,759
有形固定資産合計	2,404,547	2,491,638
無形固定資産	76,253	73,793
投資その他の資産		
投資有価証券	570,305	653,848
その他	242,407	228,525
貸倒引当金	△11,482	△11,433
投資その他の資産合計	801,231	870,941
固定資産合計	3,282,031	3,436,373
資産合計	13,270,735	12,458,102
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,694,911	3,204,927
短期借入金	1,300,000	1,300,000
未払法人税等	20,747	14,321
賞与引当金	81,759	41,154
災害損失引当金	5,331	—
その他	90,973	136,644
流動負債合計	5,193,722	4,697,048
固定負債		
退職給付引当金	88,569	85,803
長期未払金	264,910	115,410
その他	163,763	193,594
固定負債合計	517,243	394,808
負債合計	5,710,965	5,091,856

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金	819,054	819,054
利益剰余金	5,503,850	5,351,210
自己株式	△44,776	△44,782
株主資本合計	7,483,028	7,330,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	76,741	35,863
評価・換算差額等合計	76,741	35,863
純資産合計	7,559,769	7,366,245
負債純資産合計	13,270,735	12,458,102

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	8,588,910	7,858,015
売上原価	7,860,382	7,174,110
売上総利益	728,527	683,904
販売費及び一般管理費	786,048	738,900
営業損失(△)	△57,520	△54,995
営業外収益		
受取利息	9,389	4,031
受取配当金	2,600	10,222
その他	26,495	27,483
営業外収益合計	38,485	41,738
営業外費用		
支払利息	13,311	10,875
その他	11,258	9,668
営業外費用合計	24,569	20,544
経常損失(△)	△43,604	△33,801
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,516	—
特別利益合計	1,516	—
特別損失		
固定資産除却損	7,459	7,702
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,600	—
その他	372	265
特別損失合計	33,432	7,967
税引前四半期純損失(△)	△75,520	△41,769
法人税、住民税及び事業税	13,922	13,248
法人税等調整額	23,512	△987
法人税等合計	37,435	12,261
四半期純損失(△)	△112,955	△54,030

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。